

医療の最前線に立つ薬のプロを目指して



**聖マリア病院  
薬剤師募集  
2021**

領域を極めた病院薬剤師を育てる

# 聖マリア病院が目指す6つの目標

病院薬剤師はいま、医療の高度化に伴い、いっそう質の高い業務をこなすことができる領域ごとの専門性＝資格が求められています。医薬品についての最新情報を効率的に収集し、使いこなす能力も欠かせません。聖マリア病院は、こうした「医療の最前線に立つ薬のプロ」を目指すため、6つの目標を定めました。われわれとともにスペシャリストへの道を歩みませんか。

## 資格

病院は「認定薬剤師」「専門薬剤師」「指導士」など、資格を取得しやすい環境を整えています。聖マリア病院では、がん、感染症、糖尿病といったさまざまな領域の資格取得者がいます。今後も多分野での資格取得を支援し続け、チーム医療の高度化に応えます。

## 情報

情報通信技術（ICT）の急速な進展に応じ、医薬品などの在庫・品質に関する情報を収集、管理し、院内外を問わず最新の情報を発信します。自ら副作用のモニタリングや処方設計をすることにより、情報の使い手となる薬剤師を育成します。

## 物流

医療現場の要望に即して迅速、的確に医療消耗品などを供給します。高額な医薬品を使わないまま死蔵したり、需要を超える過剰在庫を抱えたりするといった問題を解消するなどして、健全な病院経営の一翼を担う薬剤師を育成します。

## 指針

最も有効で経済的な医薬品を使用するための指針＝フォーミュラリーの整備、導入の実現を目指し、根拠に基づく医療（EBM）の知識を身につけた薬剤師を育成します。疑義照会や病棟薬剤業務に最適な処方提案が期待できます。

## 派遣

大規模な災害が発生した際、現地に派遣される専門的な訓練を受けた医療チーム（DMAT）に、通信・移動手手段・医薬品・生活手段などを確保する役割を担う業務調整員（ロジスティクス）の一員として参画します。

## 創薬

聖マリア病院は、がんの基礎研究と臨床研究の融合を促進させるため、九州大学や久留米大学と共同で「がんトランスレーショナル研究会」を開催しています。薬剤師として参加し、新たながん適正化治療を開発、さらに有用な治療薬の創出を目指します。



## 主な業務



### 内服・外用調剤業務

処方オーダーリングシステムを活用し、処方箋の内容について、飲み合わせ・副作用・量・飲み方などをチェックし、患者さん一人一人に適した内服薬や外用薬を調剤します。外来窓口では、薬の使い方や一般的な注意などを分かりやすく説明。患者さんの質問や相談にも応じます。



### 医薬品情報管理業務

薬の情報を専門に取り扱う医薬品情報 (DI) 室で、当院が採用している約1800品目の薬をはじめ、薬物療法で使用される薬の情報を広く収集・加工・評価し、医師や看護師、薬剤師などの医療スタッフに提供します。院内外からの電話での問い合わせにも対応します。



### 注射調剤業務

注射オーダーリングシステムを活用し、処方箋の内容について、投与量・経路・速度・期間などをチェックし、注射薬を調剤します。注射オーダーリングシステムと注射薬自動払出機を連動し、オーダー変更に対応した払い出し (1日4回定時調剤) をしてリスクの軽減に努めます。



### 病棟業務

入院中の患者さんのベットサイドに伺い、薬の適切な使い方や注意点などを説明します。薬の使用状況を把握し、副作用を未然に防ぐとともに、カンファレンスや糖尿病教育入院の講師役を務め、より安全かつ安心な薬物療法を提供できるよう努めます。



### 製剤業務 (TPN・抗がん剤)

リスクの高い注射薬剤である中心静脈栄養 (TPN)・抗がん剤の混合調剤を、無菌調製設備のクリーンベンチや安全キャビネットの中で行います。抗がん剤は、処方箋の内容と治療計画 (レジメン) が合致しているかを確認し、薬歴管理を行うことでリスクの軽減に努めます。



### チーム医療への参加

多職種の医療スタッフが取り組むチーム医療の一員として、適正で安全かつ効果的な薬物療法ができるよう、医薬品情報の収集と加工、評価を行います。栄養サポートチーム (NST)、感染対策チーム (ICT)、緩和ケアチーム、抗菌薬適正使用支援チーム (AST) に参加しています。

## 勤務体制 3交代・4週8休制

- 日勤 8時30分～17時00分  
12時30分～21時00分
- 準夜勤 16時30分～翌1時00分
- 深夜勤 0時30分～9時00分

## 業務実績 (2019年12月現在)

- 外来処方箋枚数 365枚/日
- 入院処方箋枚数 600枚/日
- 院外処方箋発行率 13.8%
- 注射処方箋枚数 1018枚/日
- TPN混合件数 17件/日
- 抗がん剤混合件数 28件/日

## 臨床現場での活躍

永井 和正さん (2014年入職)

### 興味が広がり、より学びたくなる

抗がん剤治療に関心を持ち、聖マリア病院に入職したのですが、幅広い診療科のさまざまな疾患に接するうちに興味の幅が広がりました。今は外科と消化器科の担当ですが、ICUに行くようになり、脳や心臓血管外科のことも学びたくなりました。

病棟では、患者さんへの服薬指導やモニタリングなどを行い、他職種の人と一緒に治療を進めています。よりよい治療につなげるためには、患者さんの訴えをきちんと受け止めることも大切だと思います。



### 入職2年目で腎移植メンバーに

2015年11月に当院で腎移植がスタートし、そのチームの初期メンバーに選ばれました。指導書作り、移植前の薬の説明など初めてのことはばかりで大変でしたが、服薬管理を任せられ、薬剤師の果たす役割の重要性を実感できました。多くの経験を積み、今後いろいろなチャレンジしていきたいです。

### 2019年からASTチームに専従薬剤師

抗菌薬適正使用支援チーム (AST) の薬剤師が2019年から専従になり、薬剤師活躍の場がさらに広がりました。ASTは感染症の治療効果を高め、耐性菌の出現を抑えるために、抗菌薬の使用を適切に管理・支援する実働部隊です。

専任の薬剤師は、特定抗菌薬のモニタリングとフィードバック、TDM解析、抗菌薬使用量サーベイランスなど、ASTの中心メンバーとしての役割を担います。ASTでは、感染症・感染制御の専門的知識を持つ薬剤師の力がより一層必要とされるのです。





# ワークライフバランス

山之内 智子さん (2003年入職)

## フォローしてくれる人が多い

子どもが3人います。子どもの病気など突発的な事情などで、どうしても仕事を抜けなければならないときがありますが、聖マリア病院の薬剤部はフォローに入ってくれる人が多いので、とても安心感があります。

## 新薬の勉強が業務時間内ができる

新しい薬が出たときは院内で説明会があるので、業務時間内に関いてもらえるため、特に居残りをする必要もありません。子育て中でも、スキルアップのための勉強がきちんとできるという点で、とても助かっています。



### 365日保育の「聖マリア保育所」

病院のすぐ近くには聖マリア保育所があります。保育時間は7時30分から18時30分まで（延長保育は22時30分まで）。365日保育を実施し、子育て期間中の職員をしっかりとバックアップする体制を整えています。



### 病院敷地内に病児保育施設

入院の必要がない病気や病気回復期の乳幼児・児童を預かる病児保育施設「マリアン・キッズ・ハウス」が病院敷地内にあります。看護師1人、保育士3人が常駐。保育園に預けられないときも安心です。

### 民間アパートなどの職員宿舎

職員宿舎は、民間のアパートなどを借り上げて提供しています。

# 新人教育プログラム

谷 貴裕さん (2019 年入職)

## いろいろな処方箋が見たいから

早く患者さんのために役立つ薬剤師になりたいと思い、病院薬剤師の道を選びました。聖マリア病院は病床数が多いため、いろいろな処方箋を見ることができると思いました。

## 先輩の指導を受けながら実務経験

入職後1年間は新人教育プログラムに従って指導を受けます。最初の3カ月間(4月~6月)は研修期間で、病院薬剤師の業務を一通り確認しました。残りの9カ月間(7月~翌年3月)は新人薬剤師期間で、先輩の指導を受けながら臨床の現場にも参加し、実務経験を積んでいます。分からないことは常に先輩に聞くように心掛けて、業務に取り組んでいます。



### 1年間の新人教育プログラム

#### 全新入職員教育(4月/1週間)

当院の職員としての自覚を身につけることを目的に、他職種と合同で実施します。

#### 新入職員教育(4月~翌年3月)

薬剤師としての基本的な技術を身につけることを目的に、「研修期間」と「新人薬剤師期間」に分け、教育します。先輩の指導のもと、DI業務や病棟業務など、さまざまな業務に携わります。外部の研修会などにも、病院のサポートを受け、積極的に参加できます。

##### 研修期間(4月~6月)

講義の受講、研修生としての実務研修

##### 新人薬剤師期間(7月~翌年3月)

新人薬剤師として各業務を実務研修

### 専門・認定薬剤師の資格取得

当院では、がん薬物療法認定薬剤師や感染制御専門薬剤師など、さまざまな資格取得をサポートしています。

#### 認定者数(2019年12月現在)

- がん薬物療法認定薬剤師 2人
- 栄養サポートチーム(NST) 専門薬剤師 2人
- 福岡県糖尿病療養指導士 6人
- 日本糖尿病療養指導士 2人
- 感染制御専門薬剤師 1人
- 感染制御認定薬剤師 2人
- 漢方・生薬認定薬剤師 2人



## 社会医療法人 雪の聖母会

社会医療法人雪の聖母会は「カトリックの愛の精神による保健、医療、福祉、および教育の実践」を基本理念に掲げ、1953年に聖マリア病院（福岡県久留米市）を設立、2014年にはリハビリテーションの手法を生かして地域包括ケアを実践する聖マリアヘルスケアセンター（同）を開

院しました。現在、二つの病院で救急、周産期医療、がん治療をはじめ 40 を超える診療科による患者さん中心の地域医療を展開すると同時に、時代が求める病院環境を整え、職員の教育に重きを置き、地域社会に信頼される病院を目指しています。



国道 209 号沿いに建つ地上 19 階、地下 2 階の聖マリア病院地域医療支援棟。免震機能やヘリポートなど災害拠点病院として不可欠の能力を備えています。左は聖マリアヘルスケアセンター

### 聖マリア病院

- 病床数 1097 床
- 標榜診療科 41 科
- 常勤薬剤師 57 人

### 聖マリアヘルスケアセンター

- 病床数 198 床
- 標榜診療科 5 科
- 常勤薬剤師 2 人

### 資料請求・病院見学申し込み

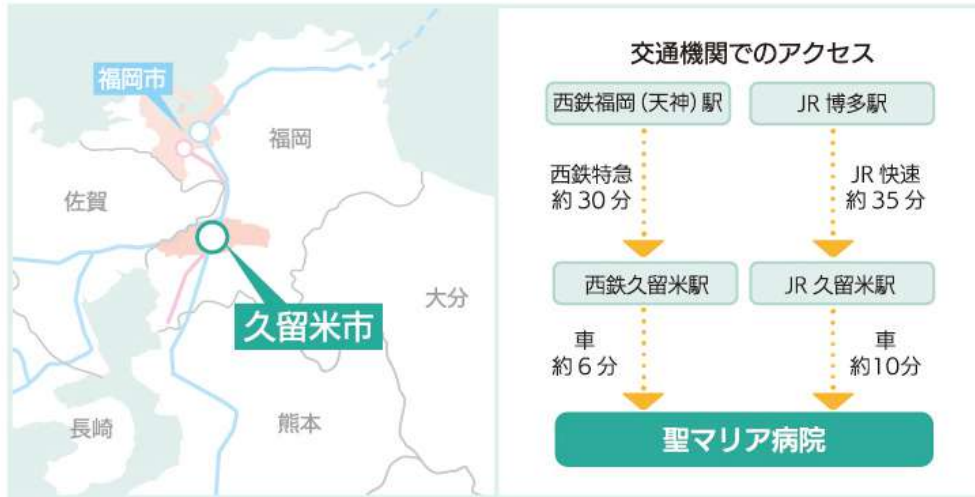


聖マリア病院 採用特設サイトでは、最新の薬剤師採用情報を閲覧いただけます。資料請求や病院見学申し込みも可能です。気軽にお問い合わせください。

### 聖マリア病院の薬剤師 (YouTube)



聖マリア病院の薬剤師業務や入職後の研修の様子などを YouTube でご覧いただけます。聖マリア病院や聖マリアヘルスケアセンターの概要も動画でご紹介しています。



社会医療法人 雪の聖母会

# 聖マリア病院

労務管理課 ☎0120-768-314

〒830-8543 福岡県久留米市津福本町 422

電話 0942-35-3322 ファックス 0942-34-3115